

平成17-18年度 文部科学省 **特色ある大学教育支援プログラム** 事業報告書

高齢社会に対応した歯科衛生士の育成 — 歯科口腔介護教育のカリキュラムへの導入 —

事業推進責任者 金子 潤 (歯科衛生士学科)

1. 補助事業の目的・必要性

本補助事業の全体の目的は、明倫短期大学歯科衛生士学科の教育目標である「歯科口腔介護を实践できる歯科衛生士の養成」を図り、わが国の高齢社会における要介護高齢者の自立と生活の質(QOL)の向上に資するため、現在行なわれている「歯科口腔介護」教育プログラムをさらに充実・発展させることである。平成18年度には本学歯科衛生士学科修業年限の3年制化が予定されており、「歯科口腔介護」を含む「介護論」の必修化により、福祉(介護)分野全般に対する見識の深い歯科衛生士の育成を目指す。また、臨地実習施設における事故・感染対策の徹底、収集データの整理・集計による教育効果の評価、e-Learningシステムの構築による教育の合理化を目的とする。

介護保険制度が軌道に乗った今日、歯科衛生士の職域は従来の三大業務(歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導)に止まらず、新たに「歯科口腔介護」を加えて四大業務とすることが望ましい。本補助事業により歯科口腔介護の専門的知識を持った歯科衛生士育成の強化を目指す。

2. 補助事業の内容と成果

1) 平成17年度

(1) 概要

平成17年度における本補助事業では、「歯科口腔介護」教育の充実・発展を達成するために、必要となる機材・器具等の準備、歯科口腔介護および一般介護分野の知識・技術の向上、収集データの整理・集計による教育効果の評価、事故・感染対策の徹底、e-Learningシステムの構築を行なった。また、平成17年度に開催される特色GPフォーラム等への参加・発表により、本取組の内容の公表・普及を図った。

(2) 補助事業の内容

① 歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備

歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備により、基礎実習・臨地実習の充実と更なる実習内容の拡大・発展を図った。とくにデンタルユニットの設置は、歯科口腔介護および一般介護分野の知識・技術の向上を目的として、主に基礎実習において学生が障害者・

高齢者介護を想定したユニットへの移乗介助、摂食・嚥下介助、歯科口腔介護技術の習得を目指すものである。

また、消毒滅菌用機材の設置により、実習中における事故・感染対策の徹底を図った。

- ・オートクレープ1台の設置(明倫短期大学):平成17年10月

- ・デンタルユニット3台の設置(明倫短期大学):平成18年1月

② e-Learningシステムの構築とコンテンツ作製

歯科口腔介護教育のためのe-Learningシステムの構築と、「歯科口腔介護(実習編)」のコンテンツ作製を行なった。

- ・e-Learningシステムサーバ1台の設置(明倫短期大学):平成17年10月

- ・e-Learningシステムコンテンツ「歯科口腔介護(実習編)」完成:平成18年3月

江川広子, 和田麻衣子, 幸田奈美, 小竹利典

③ 歯科口腔介護関連データの整理・集計

事務補佐員の雇用によって、過去8年間の臨地実習で収集した歯科口腔介護関連データの整理・集計作業を行なった。

- ・事務補佐員雇用2名:平成17年10月~平成18年3月

- ・パソコンレンタル2台:平成17年10月~平成18年3月

- ・データ処理集計用ソフトの購入:平成17年10月

④ 本取組の公表・普及

特色GPフォーラム、関連学会等への参加と発表、雑誌等への掲載を行ない、本取組の内容についての公表・普及を図った。また、他大学の福祉(介護)分野教育の実態調査・情報収集を行なった。

- ・明倫短期大学ホームページに本取組を掲載:平成17年9月

- ・「高齢社会に対応した歯科衛生士の育成」パンフレット6000部の作成:平成17年10月

- ・平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」フォーラムでの発表

横浜会場(平成17年10月17日, パシフィコ横浜):
金子 潤, 平澤明美

福岡会場(平成17年10月24日, アクロス福岡):本
間和代

新潟会場(平成17年11月2日, 朱鷺メッセ):金子
潤, 渡辺美幸

広島会場(平成17年11月11日, 広島国際会議場):
江川広子

名古屋会場(平成17年11月15日, 名古屋国際会議
場):本間和代

- 札幌会場（平成17年11月21日，札幌コンベンションセンター）：江川広子，下河辺宏功
 京都会場（平成17年11月23日，国立京都国際会館）：
 金子 潤，平澤明美
- ・2005年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会（平成17年11月25～26日，東京）への参加
 渡辺美幸，和田麻衣子，幸田奈美
 - ・新潟ビジネスメッセ2005（平成17年11月10～11日，新潟市産業振興センター）への出展
 金子 潤，江川広子，平澤明美，和田麻衣子，幸田奈美，山田隆文，大井秀一，森田知治，小竹利典
 - ・「文部科学省特色ある大学教育支援プログラム事例集 -平成17年度-」への本取組内容の掲載
 金子 潤
 - ・「医学教育」第37巻1号への本取組内容の掲載
 金子 潤
 - ・「全国短期大学歯科衛生士教育協議会会誌」第10号への本取組内容の掲載
 福島祥紘，金子 潤
 - ・「明倫歯科保健技工学雑誌」第9巻1号への本取組内容の掲載
 金子 潤
- ⑤ 福祉（介護）分野の特別講義の実施
 福祉（介護）分野の専門家による特別講義を実施した。
- ・歯科衛生士学科1年生対象特別講義（平成18年3月3日，明倫短期大学大講堂）
 講師：介護老人保健施設「ケアポートすなやま」（新潟市）施設長 松田由紀夫 先生
 演題：「高齢者の介護」
- (3) 補助事業による成果
- ① 歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備により，基礎実習・臨地実習の充実と更なる実習内容の拡大・発展を図ることによって，学生の歯科口腔介護および一般介護における知識・技術を向上させることができた。また，消毒滅菌用機材の設置により，学生の臨地実習における感染対策の徹底を図ることができ，学生がより安全に実習を行なうことが可能となった。
 - ② 歯科口腔介護教育のためのe-Learningシステムの構築と，「歯科口腔介護（実習編）」のコンテンツ作製により，ネットワークを通して学生が自由に学べる環境を作り，教育の合理化を図る準備が整った。
 - ③ 過去8年間の臨地実習で収集した歯科口腔介護関連データの整理・集計作業を行なうことにより，本取組の有効性を検証し，問題点の提起と解決法を検討する

資料を整えることができた。

- ④ 特色GPフォーラム，関連学会等への参加と発表，雑誌等への掲載を行なうことにより，本取組の内容について他大学に公表・普及することができた。また，他大学の福祉（介護）分野教育の実態を調査し，情報収集を行なうことにより，本学学生教育の参考とすることができた。
- ⑤ 福祉（介護）分野の専門家による特別講義の実施により，学生の福祉（介護）分野全般に対する見識が深まり，障害者や高齢者のニーズに応えられる高齢社会を見据えた歯科衛生士の育成に役立った。

2) 平成18年度

(1) 概要

平成18年度における本補助事業では，「歯科口腔介護」教育の充実・発展を達成するために，必要となる機材・器具等の準備・設置，歯科口腔介護および一般介護分野の知識・技術の向上，収集データの整理・集計による教育効果の評価，e-Learningシステムの整備とコンテンツの作製を行なった。また，「歯科口腔介護教育フォーラム」の開催や，関連学会への参加と発表により，本取組の内容を広く公表・普及させた。平成18年度より本学歯科衛生士学科は修業年限の3年制化を予定しており，福祉（介護）分野全般に対する知識・技術の向上を目的として，「福祉総論・看護論」および「介護技術論」を開講する。この新設される2科目で必要となる講義資料，実習器材等の準備も行なった。

(2) 補助事業の内容

① 歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備

歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備により，現在までに行なってきた基礎実習・臨地実習の充実と，更なる実習内容の拡大・発展を図った。とくにデンタルユニットの設置は，歯科口腔介護および一般介護分野の知識・技術の向上を目的として，主に基礎実習において学生が障害者・高齢者介護を想定したユニットへの移乗介助，摂食・嚥下介助，歯科口腔介護技術の習得を目指すものである。液晶プロジェクターは，主に臨地実習におけるカンファレンスで，学生が症例検討などに用いるものである。

また，平成18年度より新規開講される「福祉総論・看護論」および「介護技術論」で必要となる講義資料，実習器材等の準備を行なった。

・講義/カンファレンス用液晶プロジェクター1台の設置（明倫短期大学）：平成18年4月

・デンタルユニット3台の設置(明倫短期大学):平成18年5月

・図書, 視聴覚資料の購入:平成18年5月

② 歯科口腔介護関連データの整理・集計と教育効果の評価

過去9年間の臨地実習で収集した歯科口腔介護関連データの整理・集計を行なうことにより, 本取組の有効性をさらに検証し, 問題点の分析と解決法を検討した。また, 関連学会においてその成果を発表した。

・事務補佐員雇用2名:平成18年4月~平成19年3月

・パソコンレンタル2台:平成18年4月~平成19年3月

・日本歯科衛生学会第1回学術大会(平成18年11月, 東京)への参加と発表

本間和代, 金子 潤, 江川広子, 平澤明美, 渡辺美幸, 和田麻衣子, 幸田奈美, 木戸真紗美, 福島祥紘, 山田隆文, 小黒 章, 下河辺宏功

③ 本取組の公表・普及

歯科口腔介護教育フォーラムの開催, 関連学会等への参加と発表, 雑誌等への掲載を行ない, 本取組の内容についての公表・普及を図った。また, 他校の歯科口腔介護教育の実態調査・情報収集・情報交換を行ない, 本取組の充実・発展のための参考とした。

・「歯科口腔介護教育フォーラム2006」開催:平成18年10月7~8日, 明倫短期大学

・文部科学省ホームページ「特色GPイベント~インフォメーション&レポート~」への掲載:平成18年8月, 平成18年11月

・歯科口腔介護教育フォーラム用パンフレット700部の作成:平成18年9月

・歯科口腔介護教育フォーラム用改定教本150部の作成:平成18年10月

・第17回日本老年歯科医学会学術大会(平成18年6月1~2日, 沖縄)への参加

平澤明美, 渡辺美幸

・第25回日本歯科医学教育学会学術大会(平成18年6月16~17日, 仙台)への参加

本間和代, 江川広子

・2006年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会(平成18年12月8~9日, 京都)への参加と発表

江川広子

・「短期大学教育」第62号への本取組内容の掲載

金子 潤

・「文部科学時報」平成18年5月号への本取組内容の掲載

金子 潤

・「明倫歯科保健技工学雑誌」第10巻1号への本取組内容の掲載

金子 潤

④ e-Learningシステムの整備とコンテンツの作製

「歯科口腔介護(講義編)」のコンテンツ作製を行なった。また, 講習会等への参加によりe-Learningに関する見識を深め, ネットワークを通じた教育体制の整備に役立てた。

・歯科衛生士学科2年生による「歯科口腔介護(実習編)」コンテンツの閲覧開始:平成18年7月

・NIME研修講座「学習者支援セミナー」(平成18年7月21日, 千葉)への参加

山田隆文

・NIME研修講座「素材作成ワークショップ」(平成18年8月7~9日, 千葉)への参加

小竹利典

・e-Learningシステムコンテンツ「歯科口腔介護(講義編)」完成:平成19年3月

江川広子, 和田麻衣子, 幸田奈美, 木戸真紗美, 小竹利典

⑤ 福祉(介護)分野の特別講義の実施

福祉(介護)分野の専門家による特別講義を実施した。

・歯科衛生士学科1, 2年生対象特別講義(平成18年10月6日, 明倫短期大学大講堂)

講師:国立病院機構「西新潟中央病院」(新潟市)看護師長 益子照江 先生

演題:「歯科衛生士が知っておきたい患者の基礎知識 - 神経・筋疾患を中心に -」

(3) 補助事業による成果

① 歯科口腔介護および一般介護用機材・器具の設置・整備により, 現在までに行なってきた基礎実習・臨地実習の充実と, 更なる実習内容の拡大・発展を図ることによって, 学生の歯科口腔介護および一般介護における知識・技術を向上させることができた。また, 平成18年度より新規開講される「福祉総論・看護論」および「介護技術論」で必要となる講義資料, 実習器材等の準備を行なうことにより, より質の高い福祉(介護)分野の教育が可能となった。

② 過去9年間の臨地実習で収集した歯科口腔介護関連データの整理・集計および歯科口腔介護教育の有効性の検証によって, 本取組のさらなる充実・発展につなげることができた。また, 有効性を検証・公表することによって, 学生が本取組で習得した知識・技術の裏付けとなり, 就職時の選択肢の拡大と就職後の自信につながった。

③ 「歯科口腔介護教育フォーラム2006」を開催して歯科衛生士養成課程における歯科口腔介護教育のあり方を具体的に広く公表することにより、全国の歯科衛生士養成校に本取組の内容を発信し、高齢社会に対応した歯科衛生士育成の全国的展開につなげることができた。また、関連学会に参加して他校の歯科口腔介護教育の実態調査・情報収集・情報交換を行なうことにより、本取組の参考とし、教育効果の向上に役立てることができた。

④ e-Learning「歯科口腔介護（講義編）」コンテンツ

の作製により、ネットワークを通して学生が講義内容を自由に閲覧して学べる環境が整い、教育の合理化を達成することができた。また、e-Learning関連の講習会等への参加により、教員の資質向上とe-Learningシステムの整備・充実に役立てることができた。

⑤ 福祉（介護）分野の専門家による特別講義の実施により、学生の福祉（介護）分野全般に対する見識が深まり、障害者や高齢者のニーズに応えられる高齢社会を見据えた歯科衛生士の育成に役立った。